

ス
わ
れ
わ
れ
ンの

われわれは労働者階級・人民のめざす民主主義革命の偉大な先発隊であり、突撃隊である。
(1) 偉大な大武思想を高くかかげ、青年行動隊を編成し、社会主義・共産主義の未来に向かって進軍しよう！
(2) われわれの『綱領』と『規約』を実践上の導きにして、青年運動の革命的統一を実現しよう！
(3) 『青年は恐れることなく、よく遊び、よく学び、よく聞く、前進せよ！』を合言葉に日常活動を活発に展開しよう！

青年戦士

1982年
10月30日
第26号

毎月1回30日発行1部100円

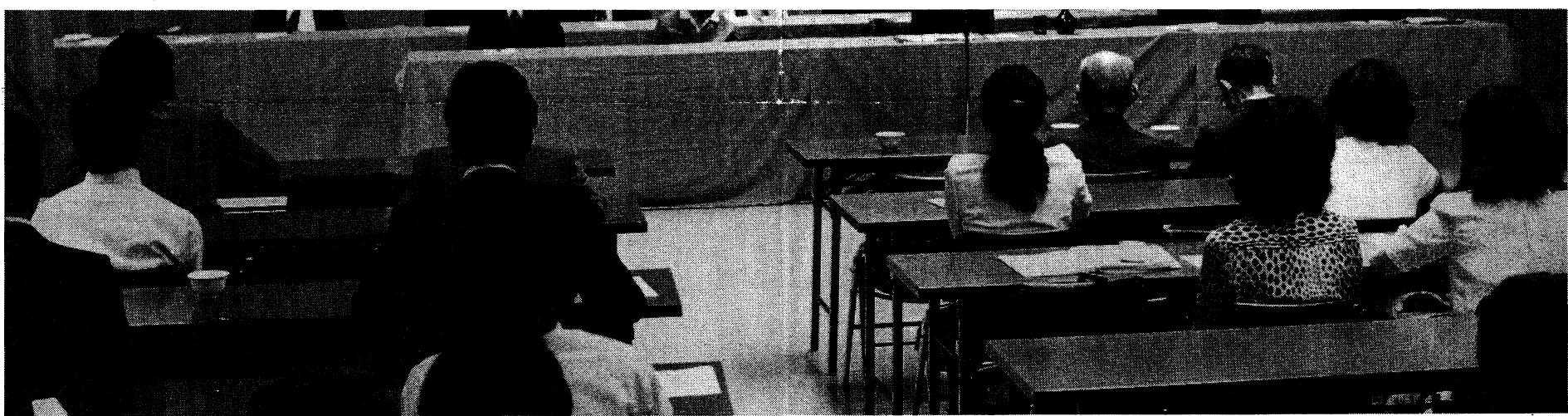
発行所 日本共産主義青年同盟(行動派)
中央委員会機関紙部
発行人 松原博志
〒101 東京都千代田区一ツ橋2-6-10(東洋政経ビル内)
電話 東京 03(263)70222代
〒557 大阪市西成区千本北2丁目32-34新聞コーポA号室
電話 大阪 06(659)03113
(昭和56年1月16日第三種郵便物認可)

われわれ青年は革命的英雄主義と革命的党派性を体得し、青年運動を階級的に再編する草創期の時代を正しく闘いぬかねばならない！

～1982年度『偉大なる10月を記念し、たたえ、追憶する集会』の勝利万歳！～

偉大なる10月を記念し、たたえ、追憶する集会





日本共産主義青年同盟（行動派）中央委員会

十月十九日（火）大阪においてそれぞれ盛大な歿廟に開催された。

十月六日、東京での記念集会。ちょうどいのう日本は「徳田球一」と共に草創期の日本共産党を背負って開闢した一十九歳の指導者渡辺政之輔が台湾のギルーンにおいて宣戦し激しい銃撃戦を展開し壮烈な最期をとげた日、渡政の「戊戌五十四周年記念日」であった。

記念集会の会場は、この盛大な月を記念する「ふさわしい熱気と雰囲気につまれていた。会場の正面には「偉大なる十月を記念し、たたえ、追憶する集会」の横断幕が輝く深紅の旗幟をバックにうきあがっていた。そして、正面中央には「徳田球一」と渡辺政之輔の肖像画と革命英雄記念碑の額がかけられ、両サイドには人間争のシンボルたる赤旗が雄大にひらがえっていた。しかし

待候身の類が施されてゐた。

このような歎嘆を含む氣氛のなかで東洋日本局代表・小林武治同志（司会）が開会宣言を行ふ、中央紅合唱團の指揮で「赤旗」のうたが参加する指導者たち武太郎、郎義典等は幹事會の席上でも重要なる記念講話を行った。大武謙長は徳田球一と連携攻撃の生き残りますが解明しつゝ、革命的英雄主義や革命的民族精神の神韻をわれわれ青年に強く提起し、日本共産黨の革命的伝統を正しく継承してゐるのは日本共産黨（行動派）以外にならないと思ひ入る。

武田一雄書記長は日本共産党（行動派）中央委員会を代表して党活動報告を行つた。そのなかで再建築された党的歴史的位置を明確に規定つけ、人民闘争と大衆運動を階級的に再編成する革創期の根本的任務と基本方向をわれわれに示した。

「青年運動を革命的に再編成する草創期の闘争を胸にぬく決意をより一層深くとも固めていかなければなりません。偉大な十月革命を終えるにあたつて、ここにこの集会の勝利を確認しつゝ、日本共産主義青年同盟（行動派）中央委員会として新たな決意を明らかにする。以下はその全文である。

月曜日（一九四五年）は、獄中十八年を争と大衆運動を階級的に軍艦變成する革創期の向で闘ひ立たれた徳田球と革命的共産主闘としてすべてが展開されてゐるのである組織化する。以上である。

月六日（日本二十六年）正月、田代は、この年も大正の年であることを喜んで、たゞ一年を守つてゐる。されど、いかにもかうして、たゞ一年を守つてゐる。なぜかならないのか。なぜかならないのか。されど、わが日本共産党（行動派）の再建後は、うであつたまゝに、そんではおはる共产党の如きが、立派な政治家として、國會に現れるのである。

が日本共産主義青年同盟(日共連)ば、青年運動を指導するによき手として、青年運動の伝統以上、その思想こそ、鶴田球一、渡辺政之輔など、その実践者たちが、人生観があり、実践的意欲旺盛なのである。

この思想と世界觀を自らのものにした。再建されたわが同朋学舎¹⁰において吉澤連氏たるし、開いたかねばならぬのである。

「感謝」で、いつの時代を
開き換へんとするわれわれ革命的情青共
闘ひぬかでないかねなどして、最もも重要な事
は自己の利益や目前の腹股に喜び憂する
ぬ思想(自前)で、勝ちどもしらせる
ふ――ううう自分のハローさんを

「現金会員が主催する」九八一年度「母大なることを記念」たゞ、追憶する樂章に横下にある革命的幹部と活動家は、貫じて二段階を代表し、樂会の席上、つらつらと語演にこなす。渡辺政子と革命美術團の講演にこなす。渡辺政子と革命美術團の講演にこなす。族を代表し、樂会の席上、つらつらと語演にこなす。

第三に、われわれの政策として針をまことに立てるにあつては、現在、国内外で発生しているすべての問題の位置づけられる基本的な任務であつた。この問題は、日本の立場からいへば、日本共産党の革新的政策の実現のためのものである。この問題は、わが國の内外で発生しているすべての問題の位置づけられる基本的な任務であつた。この問題は、日本共産党の革新的政策の実現のためのものである。

道は全面的危機の産物であつて、これを解釈するにはマルクス主義に基づく歴史的復興論以外にならぬ。この歴史的要求にこゝで問題となるのは、既存階級組織の大衆への闘争として重要な点が、大衆組織としての運営を記述したのである。つまりは、こうして完全に勝利したのであるが、これが証明されてゐるのである。たゞ、さうして追憶されるのは、二つの段階の大なかひきあげである。

第三期の時代をよく聞く指導思想として、偉大なる大武思想が精華したのである。故に段階循環式をくわづかれて、組織じ機関を根本的に刷新するが、まさに独自に大衆を用いるといふ。民主主義と権利と自由をめぐる機関を利用して運用するといふ。こうして三つの集会」の勝利万歳、日本共産黨の革命的伝統万歳、偉大なる大武思想万歳、

われわれの階級政策、とにかく階級政策の第二項を正確に実践することである。大

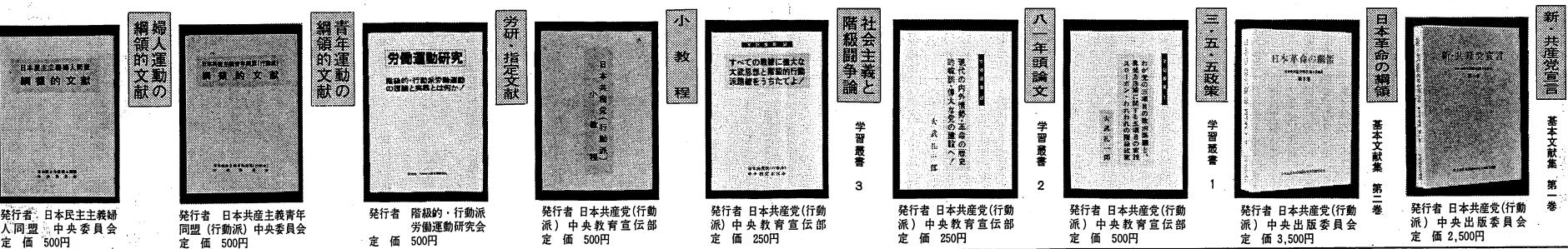
闘争方向が二つにある。

最後になりましたが、私は全党衆として、この会議に出席して、その運営を監視する。徳田の末子であり、徳田・渡政の相談役である徳田ひささん、また、他のすべての老革命家に、心からお詫びの意を述べた。その感想をうながせたいと思います。

本年の党創立記念日の最大の成績、「渡政会」が「徳田・渡政会」に至ったことであつて、徳田ひささんがわれの前に姿を現すのであります。多くの商業新聞が今日上げ、人々に大正思想と党的存在を知らしめ、宮本修正主義には大きな打撃を受けました。

えられたる老革命家との間には、が先と日本の革命運動の財産であります。党はわが大武礼一郎議長によって示された方針にもとづき、党的崇拝をして、徳田球一と日本革命家の偉人として老革命家の立場を通じて光栄ある任務をこなすことを誓つて、徳田の伝統を一身に繼承する大武思想の旗のもと、運動を生長と大武思想の旗のもと、運動を生長させ、改めて誓つて、私の党活動の前途を前進させる所を深くお詫び申します。(以上)

われわれの重要な基本文献を学習しよう！



書店・店頭販売
東京…丸善(日本橋) 高野書店

（東京） 寶書房、文献堂（早稻田）
山泉校 弘栄堂書店 大阪…旭屋書

日本共産主義青年
効派) 中央委員会
600円

600 | P

階級的・行動派
労働運動研究会
500円

卷之三

日本共産党(行動
中央教育宣伝部
500円

(天王寺) 京都…ナカニ
林野) 神戸・神奈・神奈

日本共産党(行動
中央教育宣伝部
250円

(京都大学前) セイレイ社
名古屋 東急百貨店 松波

者 日本共産党(行動
中央教育宣伝部
価 250円

社大学前) かもがわ書店 (の他・き本か書屋 (奈良・

日本共産党(行動)
中央教育宣伝部
価 500円

振替口座 東京8
(印し込みは下欄)

日本共産党(行動)
中央出版委員会
3,500円

393 「日本共产党（行動派
新幹線）」

日本共産党行動
中央出版委員会
2,500円

「閱報委員會」